

株式会社ジェイコム湘南・神奈川 横浜テレビ局

第 24 回 2019 年度 放送番組審議会 議事録

2019 年度の放送番組審議会は、2020 年 3 月 5 日(木)にジェイコム湘南・神奈川 横浜テレビ局で開催された。

＜放送番組審議会委員＞ (五十音順)

—ご出席—

工藤 誠一 様	嶋田 昌子 様	土屋 広次郎 様
中村 牧 様	三浦 順治 様	山崎 洋子 様
六川 勝仁 様		

事業者側から局の現況、及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(三浦会長による進行)

◆地域情報について

委員 市民の健康に関する関心は高いと思う。健康をテーマとした番組はあるのか。

事業者 他の地域では、医師会の協力で、街のドクターに出演してもらう番組がある。取り上げる内容は医療情報のため地域に特化した内容ではないが、身近なドクターが出演することで、視聴者は興味を持ってくれる。そのような番組ができたらと思う。

委員 今、世の中は新型コロナウイルスの話題が中心で、テレビも新聞も暗い情報ばかり。これから様々な花が咲くので、開花情報など、まちへ散歩に出てみたくなる、地域に密着した明るい話題がほしい。

事業者 お花見も自粛を呼びかけられている。まもなくサクラの開花を迎えるので、出かけるのを控える人たちに、横浜だけではなく神奈川県内各地のサクラの映像をリレーして届けるなどして、テレビを通してお花見を楽しんでもらう仕掛けをしたいと考えている。

委員 病院で院内コンサートを依頼されることがある。大きな音は出せないが、患者さんたちは音楽を非常に楽しみにしている。番組内で数分でも良いので、童謡など放送すると患者さんに喜ばれると思う。また、横浜にちなんだ音楽を公募などすると面白いのでは。先ほどのサクラの映像に、横浜にちなんだ曲を乗せても良いかもしれない。

事業者 番組によっては、オープニングやエンディングに横浜ゆかりのアーティストの曲を使用することがある。公募はおもしろい試みだと思う。

委員 ニュースでの情報の出し方のほとんどが「こんなことがありました」と単発で終わるように感じる。その出来事が地域にとってどんな影響を与えるのかなど、企画や特集などで見たい。

事業者 ご指摘の通り、現在は単発ニュースがほとんど。今後は市民に関心の高い話題など、追加取材し、ニュースの深掘などにも積極的に取り組んでいきたい。そのためには、ニュースを見る目を育てるなど、私たちスタッフのスキルも上げていきたい。

◆防災情報の取り上げ方について

委員 台風 19 号の情報は身近な場所の被害がわかりありがたいと思った。横浜は高齢者の多い不便な住宅地や、大型マンションもある。各地区で防災・減災に対する様々な取り組みをしているので、発災時だけでなく、平時からレギュラー企画等で取り上げられないか。

委員 今回の台風では自宅が水浸しになる被害を受けた。ブルーシートが手に入らないなどの体験もあったため、災害後の生活情報を提供してほしい。地域のケーブルテレビでこそできると思う。

事業者 台風など事前に災害が想定される場合はデイリーニュース内で注意喚起している。また 3.11 に合わせた防災特集なども行っている。河川被害や土砂災害、津波被害など各地区により被害想定は変わってくる。ケーブルテレビはローカルの強みを生かし、自治会単位などで取材することが可能。防災・減災への情報強化をしていきたい。

◆その他のご意見・ご要望

委員 横浜人図鑑は 700 回以上続いているようだが、今後も継続するのであれば、出演者のすそ野を広くし、様々な人を取り上げていただきたい。

委員 イベント等はぎりぎりに決まることが多い。直前の取材依頼を対応してもらうことはできるのか。また土日の活動も多いため、デイリーニューススタッフを土日シフトなどで、少しでも多く取材できるよう対応いただければと思う。

委員 横浜人図鑑は Youtube 配信しているようだが、その他の番組はどうか。今は TV を見ない人が増えている。

事業者 ど・ろーかるアプリでデイリーニュースとイベントの特別番組などをライブ配信している。またアーカイブもしているが、まだ一部の番組にとどまっている。

委員 番組審議会だけでなく、個別でも良いので情報交換できる場があると良い。

会長 時間となりましたのでここで終了いたします。今日は貴重なご意見ありがとうございました。今後も地域密着を期待しています。

以上